

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【記入方法】該当する項目と実地を確認した項目 に<sup>レ</sup> マークを記入する。

(総括監督員)

| 審査項目    | 細別   | a  | b            | c            | d            | e          |    |  |
|---------|------|--|--------------|--------------|--------------|------------|----|--|
| 2. 施工状況 | 工程管理 | 工程管理が非常に優れている  | 工程管理がやや優れている | 他の事項に該当しない場合 | 工程管理がやや不満である | 工程管理が不備である |    |  |
|         |      | <p>災害復旧工事及び施工条件の変更等により工期的な制約がある中余裕をもって工期内に工事を完成させた。<br/>                     工期の1割以上の余裕をもって完了させた。<br/>                     雪・風等の気象条件を考慮し、竣工検査を前提とした臨時検査が、適切で、かつ現場各確認が可能なように工程に配慮がある。<br/>                     社会的な要請により竣工時期が限定されているものについて、発注者の意向に沿った工程で完成がなされた。</p> <p>隣接する他の工事等との積極的な工程調整を行いトラブルを回避した。<br/>                     調整区間2つ以上、調整回数2回以上。(運搬路の利用調整など)<br/>                     工事調整が工程短縮の要因となった。(調整機関・回数が1回)</p> <p>地元調整を積極的に行い、トラブルなく工期内に工事を完成させた。<br/>                     道路利用、交通規制や工事の騒音などで地元調整を2回以上行った。</p> <p>代休等を確保するなど、適切な人員管理と工程管理が地域住民に好印象を与えている。<br/>                     地域の行事、作業等に関連し、代休等を行って、地域からの苦情がなかった。</p> <p>配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。<br/>                     工程の空き、無駄がなかった。<br/>                     資材搬入の時期と使用時期にずれがなかった。<br/>                     現場代理人の指示が、作業員に正確に伝わっている。</p> <p>工程表の提出が速やかに実行されている。【施工プロセス】<br/>                     契約直後の工程表は7日以内に提出が図られた。<br/>                     工程表の内容が、具体的でかつ計画性がうかがえた。(工程表は、概ね最初の標準工期の状態の工程表をもって、判断する)<br/>                     工期の変更のたびに工程表が、スムーズに提出された。(契約の変更、及び中止(期間が1ヶ月以上に及ぶ)等による工期の移動も含む)<br/>                     工法の変更により工程表の再提出がもれなく、提出された。(直接基礎を杭基礎に変更した場合、及び新工種が追加された場合など)</p> <p>工事の進捗が出来形・(段階)確認・(臨時・中間)検査等で順調に推移していることが把握できる。【施工プロセス】<br/>                     確認・検査等の状況が工程表に遅れることなく(遅れても、半月以内)進んだ。<br/>                     確認・検査等が適切な時期に実施された。</p> <p>その他( )</p> |              |              |              |            |    |  |
|         |      | <p>(採点指標)<br/>                     評価項目が6項目以上・・・a      4項目・・・b      その他・・・c(該当項目がなくとも、工期内に工事を完成)<br/>                     自主的な工程管理がなされず、監督員と協議の上で、改善指示の文書を出した場合・・・d<br/>                     請負者の責により工期内に工事が完成しなかった場合・・・e      で評価を行う。</p>   |              |              |              |            |    |  |
|         |      | <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 50px;"></td> </tr> </table>  |              |              |              |            | 評価 |  |
| 評価      |      |  |              |              |              |            |    |  |

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【記入方法】該当する項目と実地を確認した項目 に ✓マークを記入する。

(総括監督員)

| 2 施工状況 | . 安全対策 | a  | b            | c            | d            | e  |    |  |
|--------|--------|--|--------------|--------------|--------------|--|----|--|
|        |        | 安全対策が非常に優れている  | 安全対策がやや優れている | 他の事項に該当しない場合 | 安全対策がやや不満である | 安全対策が不備である   |    |  |
|        |        | <p>建設労働災害、公衆災害の防止への努力が認められる。【施工プロセス】<br/>                     該当工事における建設労働災害、公衆災害を承知している。<br/>                     災害に対する防止対策が十分である。</p> <p>安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいて、現場との連携がとれている。<br/>                     会社全体で組織的に取り組んでいて、現場との連携がとれている。<br/>                     現場に安全組織表が掲載され、担当者との職務が明確になっている。<br/>                     (総括安全衛生管理者・元方安全衛生管理者・店社安全衛生管理者)</p> <p>安全衛生管理活動が活発で他の模範となっている。【施工プロセス】<br/>                     すべての関係請負人が出席してつき一回以上行っている。(3ヶ月ごとのKY活動で確認する)<br/>                     活動内容が、工事内容を反映したもので、関連性が確認できる。(3ヶ月ごとのKY活動で確認する)<br/>                     新規入場者に対し、教育内容が適切で、かつ現場入工前に実施されている。</p> <p>安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。<br/>                     独自性がある。(いつから一般的に使われているか)<br/>                     低コストで、他の工事等への汎用が可能である。</p> <p>安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。【施工プロセス】<br/>                     協議会の幹事等の役員として、月一回以上積極的に活動している。<br/>                     その都度の開催の目的意識が明確化されている。</p> <p>安全職場実現への取り組みが地域全体から評価されている。<br/>                     誘導員の適切な交通誘導や、案内対応が良い。<br/>                     地域住民等から安全に関する苦情・トラブルがない。</p> <p>その他( )</p> |              |              |              |  |    |  |
|        |        | <p>(採点指標)<br/>                     複数のチェック項目がある場合、2 / 3 に該当すれば 評価とする。<br/>                     評価項目が5項目以上・・・a      3項目・・・b      その他・・・c<br/>                     安全対策上、安全対策が不備による事故(もらい事故や交通事故は除く)の発生で、文書注意処分以下であれば・・・d<br/>                     (処分が、文書警告以上のものは・・・e)<br/>                     パトロールや現場監督等で安全対策上の指導があり、速やかな改善が図られない場合・・・c</p>  |              |              |              |  |    |  |
|        |        |  |              |              |              | <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td></td> </tr> </table> | 評価 |  |
| 評価     |        |  |              |              |              |  |    |  |

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

【記入方法】該当する項目と実地を確認した項目に<sup>1</sup>/ マークを記入する。

(総括監督員)

| 考査項目    | 細別        | a  | b | c |
|---------|-----------|--|---|---|
| 6. 社会性等 | . 地域への貢献等 | <p>河川等の環境保全活動を具体的に実施した。<br/>主体的に取り組んだ。<br/>地域の活動に積極的に参加した。</p> <p>国県市立公園等及び周辺地域等の環境保全、貴重種等の動植物への保護等に取り組んだ。<br/>主体的に取り組んだ。<br/>地域と合同で取り組んだ。</p> <p>現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、周辺地域との調和を図った。<br/>主体的に取り組んだ。<br/>地域と合同で取り組んだ。</p> <p>定期的に広報誌や現場見学会等を実施する等、地域とのコミュニケーションを図った。<br/>主体的に取り組んだ。<br/>地域と合同で取り組んだ。</p> <p>地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等に参加し、地域に貢献した。<br/>主体的に取り組んだ。<br/>地域と合同で取り組んだ。</p> <p>災害等に地域への援助・救援活動に参加した。<br/>主体的に取り組んだ。<br/>地域と合同で取り組んだ。</p> <p>その他( )<br/>現場の交通体制を地域住民が周知していた。<br/>通学路に指定されている場合には、学校にも協力依頼がなされていた。<br/>休止中、及び中止期間中の対応が適切だった。(現場代理人が定期的に監視していた。)</p> <p>(採点指標)<br/>複数のチェック項目がある場合、いずれかに該当すれば 評価とする。<br/>ただし、別紙6の提出内容により主体性、具体性等を前提にすることから、提出のない場合は、c。<br/>評価項目が4項目以上・・・a 2項目以上・・・b その他・・・c(別紙6提出のないものを含む)</p> |   |   |

|    |  |
|----|--|
| 評価 |  |
|----|--|

1 地域への貢献度とは、工事の施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について、加点点評価する (該当工事以外の貢献は評価の対象としない)。

## 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の✓に マークを記入する。

(総括監督員)

8. 法令遵守等

| 措置内容  | 点数    |
|---|-------|
| 1. 指名停止3ヶ月以上                                | - 20点 |
| 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満                           | - 15点 |
| 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満                           | - 13点 |
| 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満                           | - 10点 |
| 5. 文書注意                                     | - 8点  |
| 6. 口頭注意                                     | - 5点  |
| 7. 事故は発生したが、口頭注意以上の処分がなかった場合(もらい事故や交通事故は除く) | - 3点  |

該当項目なし

当該工事現場に対する法令遵守のみの評価とする。他工事現場での違反は評価しない。  
 竣工検査後に処分が出た場合は、速やかに評定を修正する。(土木部請負成績評定実施要領 第7による)  
 過積載などの法令遵守については、道路交通法違反で処分されたもののみ評価する。